

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和6年度第1回文化財審議会
2 開 催 日 時	令和7年3月24日(月)10時00分～12時00分
3 開 催 場 所	宝塚市役所本庁舎3階 3B会議室
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■橋本委員 ■服部委員 ■足立委員 □下原委員 ■水島委員 ■花木委員 ■西尾委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議 題 及 び 結 果 の 概 要	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和6年度事業実施報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史民俗資料館管理運営事業について 2 文化財保護事業について 3 普及啓発事業について 4 武庫川女子大学包括連携事業について 5 桜ガ丘資料室(旧松本邸)維持管理事業について 6 市史資料整理事業について <p>(2) 令和7年度事業実施予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史民俗資料館管理運営事業について 2 文化財保護事業について 3 普及啓発事業について 4 桜ガ丘資料室(旧松本邸)維持管理事業について 5 市史資料整理事業について

令和6年度第1回文化財審議会 議事要旨

報告事項

(1) 令和6年度事業実施報告

1 歴史民俗資料館管理運営事業について

(事務局) 市立小浜宿資料館の令和7年2月までの開館日数は232日、入館者数は2,246名です。市立歴史民俗資料館旧和田家住宅の令和7年2月までの開館日数は232日、入館者数は2,025名です。市立歴史民俗資料館旧東家住宅は12月から2月は冬季休所のため、令和6年11月までの開館日数は139日、入館者数は3,267名です。

続いて校外学習の対応についてです。市内小学校3年生の社会科授業として、小浜のまちや昔のくらしを解説しています。解説案内は、小浜宿資料館と旧和田家住宅に勤務する職員および社会教育課職員が担当しました。合計11校、997名の生徒が来館しました。

最後に旧和田家住宅の漏水修繕についてです。旧和田家住宅のトイレ下基礎部分で漏水があったため緊急修繕を行いました。契約金額は286,000円、受注者は株式会社北出、期間は令和6年9月30日から10月11日です。

2 文化財保護事業について

(事務局) 県費補助事業について報告します。

① 県指定有形文化財高司素盞鳴神社 本殿改修工事補助

令和4年度から令和6年度の3ヵ年改修計画の最終年となり、自動火災報知設備工事と報告書を作成しました。期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日、事業費は3,791,500円で補助対象経費3,791,000円の3分の1を県と市が補助しました。受注者は設計管理が神戸建築文化財研究所、工事業者が村上社寺工芸社です。3年間の総事業費は28,218,600円です。

② 県指定有形民俗文化財旧東家住宅 自動火災報知設備更新

旧東家住宅は宝塚自然の家内にあり、自動火災報知の設備は自然の家の本館と繋がっています。数年前から誤報が発生しており、自然の家本館と繋ぐ幹線の経年劣化による設備の不具合と判明したため幹線の張り替えを行いました。期間は令和6年5月24日から令和7年2月17日、事業費は1,218,800円で補助対象経費1,218,000円の2分の1を県の補助を受け実施しました。受注者は株式会社宝塚電業社です。

③ 国登録有形文化財旧山田家住宅 工事・修繕

令和5年度実施分のうち、未報告のものから報告します。外周塀耐震改修工事、板塀耐震補強修繕を行いました。北東面の土塀が道路に、南西面の板塀が隣家に面しており、建築当初から100年以上が経過していることから、歩行者と隣家住民の安全のため実施しました。外周塀耐震改修工事の期間は令和6年1月23日から3月26日、契約額は1,584,000円、受注者は株式会社売布建設です。板塀耐震補強修繕の期間は令和6年2月13日から3月29

日、契約額は 3,498,000 円、受注者は株式会社中島工務店です。敷地内 3 箇所の板塀のうち、予算の都合により 2 箇所を修繕し、残り 1 箇所は撤去のみ行いました。こちらの修繕は令和 8 年度以降の早期実施を目指し予算要求に努めます。

続いて令和 6 年度実施分について報告します。トイレ及び排水管の修繕についてです。一般公開等利活用を図るため行いました。期間は令和 6 年 4 月 23 日から 5 月 16 日、契約額は 709,500 円、受注者は株式会社オーガキです。修繕前は和式でしたが修繕後は洋式となっています。

続いて玄関引戸修繕についてです。引戸の建付け不良により開閉が困難になったため、5 月の一般公開前に修繕しました。契約額は 52,800 円、受注者は株式会社中島工務店です。

続いて電気配線現況調査等業務委託についてです。電気配線が古く、経年劣化等による火災発生が懸念されるため、電気配線の現状を調査・図化し、電気配線改修案を作成しています。期間は令和 6 年 12 月 16 日から令和 7 年 3 月末で、現在も実施中のため令和 7 年度の文化財審議会では結果を報告します。契約額は 1,045,000 円、受注者は尾瀬耕司・くみ建築事務所です。

続いて玄関欄間修繕についてです。玄関欄間格子部分から塵等が入り室内を汚損しているため、格子部分に取り外し可能な仮建具を設置・修繕しました。期間は令和 7 年 2 月 3 日から 3 月 3 日、契約額は 139,000 円、受注者は株式会社中島工務店です。

④ 旧東家住宅照明器具等取替修繕

令和 5 年 7 月 21 日に実施した電気設備点検結果をもとに、建物保全のため照明器具を取り替え、ビームライトから LED ライトに変更しました。期間は令和 6 年 5 月 27 日から 7 月 31 日、契約額は 368,500 円、受注者は大阪電具株式会社です。

⑤ 第 111 回登録文化財の諮問に係る資料提出について

登録有形文化財（建造物）として保存及び活用のための措置を講ずることが妥当である物件に対して意見を提出しました。物件名は宝塚ゴルフ倶楽部 クラブハウスです。こちらは、宝塚市庁舎を設計した村野藤吾氏の設計による 3 代目のクラブハウスです。意見書は京都工芸繊維大学准教授の笠原一人氏に書いていただき、委員にも立ち会っていただきました。今後のスケジュールとしましては令和 7 年 7 月に答申があり、登録文化財に登録された場合は同年 11 月官報に掲載されます。

⑥ たからづかデジタルミュージアム 教育コンテンツ制作の助成申請の結果について

公益財団法人図書館振興財団の 2024 年度提案型助成事業に採択されました。令和 7 年度中に事業を実施します。内容は「たからづかデジタルミュージアム」に子ども専用画面を作りコンテンツを掲載するものです。コンテンツは「絵地図で見るまちのうつりかわり（武庫川女子大学包括連携事業）」と「くらしのうつりかわり学習教材 3D モデル Web サイト」の 2 つを制作・公開します。コンテンツの制作にあたっては、宝塚市教育委員会学校教育研究課の社会科副読本担当と連携し、学校教育現場での活用に向けてコンテンツ内容や文章・単語の確認などを行います。また、副読本については令和 6 年度に現行のたからづかデ

デジタルミュージアムの機能拡張としてデジタル化をしており、副読本内で子ども向けコンテンツを含めたたからづかデジタルミュージアム内掲載資料のリンクを貼るなど、コンテンツ同士も連携し、子どもたちの利用の促進を図ります。事業費は総額 5,379,000 円で、内訳は助成金が 4,729,000 円、自己資金が 650,000 円です。

⑦ 宝塚市指定無形民俗文化財 西谷地区のちまきの食文化調査報告書について

宝塚市指定無形民俗文化財「西谷地区のちまきの食文化」の指定に伴い平成 27 年度から令和元年度にかけて実施した調査の報告書を令和 6 年 6 月に発行しました。

3 普及啓発事業について

(事務局) 令和 6 年度に実施した文化財普及啓発事業について順に報告します。

令和 6 年 5 月 17 日(金)から 19 日(日)に、国登録有形文化財旧山田家住宅の 1 階全域を一般公開しました。各日 10 時から 11 時までは一般社団法人宝塚まち遊び委員会理事の中川ちあき氏・北夙川不可止氏による解説付き見学を実施しました。来場者数は一般公開が計 434 名、解説付き見学が計 45 名(全日満員)です。

6 月 2 日(日)に歴史民俗資料館旧和田家住宅で「古民家で聴く和楽器」を実施しました。箏奏者の菊武粧子氏・尺八奏者の井本蝶山氏による和楽器の演奏会で、参加者数は 25 名(満員)です。

6 月 20 日(木)に西谷の東部公会堂で「西谷ちまき作り体験」を実施しました。西谷ちまき保存会による伝統的なちまき作りを体験するイベントで、参加者数は 10 名(満員)です。

8 月の夏休み期間に「夏の鑄造体験講座」を 5 日間実施しました。会場は 8 月 2 日(金)が市立文化芸術センター、3 日(土)が中央公民館、19 日(月)が中央図書館、20 日(火)が西公民館、21 日(水)が東公民館です。低融点合金を IH クッキングヒーターで溶かして鑄型に流し、古代の青銅器のミニチュアを作る講座で、参加者数は計 75 名(全日満員)です。

10 月 5 日(金)・12 日(土)に市立文化芸術センターで「秋の歴史体験講座 勾玉作り」を実施しました。高嶺石を紙やすりで削ってオリジナルの勾玉を作る講座で、参加者数は計 35 名です。

10 月 6 日(日)・13 日(日)・20 日(日)には同会場で「秋の歴史体験講座 缶バッチ作り」を実施しました。缶バッチマシーンを使ってオリジナルの缶バッチを作る講座で、参加者には自分で描いたイラストもしくは社会教育課が用意した埴輪などのイラストを選択してもらいました。参加者数は計 120 名です。

「秋の鑄造体験講座」も同会場で 10 月 18 日(金)・19 日(土)に実施しました。参加者数は計 16 名です。

10 月 14 日(月・祝)には同会場で「ペーパークラフトで市役所で作ろう！」を実施しました。宝塚市制 70 周年記念事業の 1 つとして、市の貴重な文化遺産である宝塚市庁舎を市

民の方に親しみやすく周知するため、1/700 スケールで再現したペーパークラフトを制作し、9月から社会教育課・中央図書館・郵送で販売しています。宝塚市庁舎は市制 25 周年に合わせて、宝塚市民であった建築家の村野藤吾氏の設計により建設され、昭和 55 年(1980 年)に完成しました。イベントではひょうごヘリテージマネージャーの中川ちあき氏による建築の解説付きでペーパークラフトを組み立てました。参加者数は 26 名です。

10 月 26 日(土)に国登録有形文化財旧山田家住宅で「日本茶インストラクターに学ぶ！お茶飲み比べ体験」を実施しました。近代和風住宅の趣ある空間で 3 種の日本茶の違いを楽しむイベントで講師は日本茶インストラクター・「種ノ箱」店主の秋保強氏です。和室の設えにフォーカスしたひょうごヘリテージマネージャーの中川ちあき氏による山田家のミニ解説付きで、参加者数は 15 名です。

10 月 27 日(日)に歴史民俗資料館旧和田家住宅で「古民家であそび！絵本の読み聞かせと伝承あそび」を実施しました。中央図書館司書による絵本の読み聞かせのほか、簡単な手あそびや折り紙、トントンずもうなど昔から伝わるあそびを体験するイベントで、参加者数は 3 組 6 名です。

11 月 8 日(金)から 10 日(日)に、国登録有形文化財旧山田家住宅の 1 階全域を一般公開しました。各日 10 時から 11 時までは一般社団法人宝塚まち遊び委員会理事の中川ちあき氏・北夙川不可止氏による解説付き見学を実施しました。来場者数は一般公開が計 379 名、解説付き見学が計 45 名(全日満員)です。

11 月 23 日(土)に「ようこそ小林の丘へ～小林聖心女子学院文化財施設見学会～」を実施しました。国登録有形文化財小林聖心女子学院を一般公開しました。参加者数は 30 名(満員)です。

令和 7 年 3 月 15 日(土)に歴史民俗資料館旧東家住宅で「古民家で楽しいおひな祭り」を実施しました。ひな祭りの意味やひな人形の飾り方について文化財審議会委員の西尾嘉美氏のお話を聞き、参加者には西谷産の材料を使ったいちご大福と温かいお茶を提供しました。宝塚にしたに里山ラボや地元の方にもご協力いただき、参加者数は親子 4 組 10 名です。

3 月 22 日(土)に歴史民俗資料館旧和田家住宅で「古民家で聴く落語」を実施しました。落語家の林家染左氏による落語を聴くイベントで、昨年度は申し込み開始直後に定員に達したため今年度は抽選制にしました。参加者数は 25 名(満員)です。

3 月 29 日(土)に歴史民俗資料館旧和田家住宅で「古民家で茶道をやってみよう！」を実施予定です。対象は小学 3 年生から小学 6 年生の子どもとその保護者です。

3 月の春休み期間に「春の铸造体験講座」を 3 日間実施予定です。会場は 3 月 26 日(水)が西公民館、27 日(木)が中央図書館、29 日(土)が東公民館です。内容は夏・秋と同様です。

市制 70 周年記念事業の 1 つとして「宝塚市 70 年のあゆみ巡回展『” 7 枚 ” で ” 十 ” 分 にわかる！宝塚市 70 年のあゆみ』」を実施中です。市民に郷土への理解や誇りを深めてもらう

ため、今日までの宝塚市の歴史やあゆみを7枚のパネルで紹介する巡回展で市内6カ所を回ります。令和6年10月3日(木)から20日(日)は市立文化芸術センター、11月1日(金)から7日(木)は中央公民館、12月14日(土)から19日(木)は東公民館、令和7年1月25日(土)から29日(水)は西図書館、2月22日(土)から3月2日(日)は中央図書館、2月から3月末までは宝塚市役所でも展示しています。

4 武庫川女子大学包括連携事業について

(事務局)「2 文化財保護事業について」で報告したとおり、公益財団法人図書館振興財団の2024年度提案型助成事業に「たからづかデジタルミュージアム教育コンテンツ制作」を申請し、採択されました。令和7年度に制作を予定していますが、2つのコンテンツのうち「絵地図で見るまちの移り変わり」については、武庫川女子大学との包括連携事業として、同大学教育学部教育学科の学生9名に卒業制作としてコンテンツ内で使用する絵の制作を令和5年度・令和6年度の2年間で取り組んでももらいました。学生は令和5年度時点で3回生です。

令和5年度の活動から振り返ります。学生は市外在住の方が多いことから、まずは宝塚市について知ってもらうために1回の講座と3回のフィールドワークを実施しました。講座とフィールドワークを通して、コンテンツ内で子ども達に伝えたい歴史や文化財、名所、施設などを3つの時代区分(古代、中・近世、近・現代)で50カ所に絞りリストを作成しました。

令和6年度は作成したリストを元に学生が絵を制作しました。その成果物を披露する場として展示とイベントを実施しました。展示は令和7年3月1日(土)、2日(日)に市立文化芸術センターのアトリエで実施しました。「移り変わる宝塚のまち展」と題し、まちの移り変わりをテーマに宝塚市ならではの様々なスポットを紹介しました。入場料は無料です。

イベントは展示と同日に宝塚市文化創造館の講堂で実施しました。小学生を対象としたお絵描きワークショップで、宝塚市にゆかりのあるものを自由にお絵描きしました。完成した作品を市立文化芸術センターへ持ち込むと、「移り変わる宝塚のまち展」でゼミ生の作品と共に展示するという内容です。ワークショップの講師は藤井教授とゼミ生に依頼し、参加者数は計15名でした。

5 桜ガ丘資料室(旧松本邸)維持管理事業について

(事務局)旧松本邸は中央図書館の市史資料室が管理しています。今年度も樹木の剪定など毎年実施している維持管理事業を実施しました。一般公開は春と秋のそれぞれ1週間行いました。各600人前後の参加がありました。一般公開以外にも「いきいき学舎フレミラ」の団体見学を受け入れています。いきいき学舎フレミラは60歳以上の市民を対象としたフレミラ宝塚の事業です。

敷地内樹木整備については令和4年度に行った樹木調査結果に沿って作業を進めていますが、今年度は隣地に多大な影響を及ぼしている北西部の大きなクスノキと周辺樹木の剪定と不用樹木の伐採を行いました。

邸内・敷地内の工事・修繕については、応接室座卓の足が不安定で、見学の際に来館者の負傷に繋がるため修繕しました。破損していた窓ガラス・窓枠・網戸の修繕も行いました。また、ワインセラーの扉下部が腐食のため破損し開閉できない状態になったため修繕を行いました。主屋勝手口の扉も腐食がみられたため仮修繕を行いました。本修繕は令和7年度以降に行う予定です。

6 市史資料整理事業について

(事務局) 市制70周年記念事業として「この写真、ご存知ですか？」というWEB企画を実施しました。市史資料室にある市民等から寄せられた数多くの写真資料のうち、撮影場所や撮影時期が特定できないものをホームページ上で公開し、情報を募る企画です。新聞やネットニュースで取り上げられ反響は大きかったです。最終的に追加分を含めた14点の写真のうち8点の情報が判明しました。

続いて聖光文庫企画展示についてです。図書館内にある聖光文庫というギャラリーで、市史資料室による展示を行っています。今年度は「第11回寄託・寄贈歴史資料展」と「阪神・淡路大震災30年写真展」、「この写真、ご存知ですか？」の結果発表として「この写真、わかりました展」を開催中です。館外展示も行っており、西谷ふれあい夢プラザ内「ふれ愛ライブラリー」にて西谷村に関するパネル展を行っています。また、小浜宿資料館の特別展示室でも「市史資料室資料紹介」を行っています。

市史資料室の資料を貸し出してほしいという依頼もあります。宝塚文化創造館のすみれ♪ミュージアム、宝塚市立文化芸術センター、兵庫県立兵庫津ミュージアムに貸し出しています。

講座も開催しており、平成30年度から毎年開催している古文書入門講座は、今年度も3回連続で行いました。たからづかデジタルミュージアムの活用講座も2回実施しました。第1回は「阪神間モダニズムと宝塚」、第2回は「新時代の余暇生活～100年前の宝塚をめぐって」です。

西谷村役場文書の整理も行いました。簿冊単位の整理は終了し、資料名での検索が可能になりました。さらに内容を細かく把握するため、長尾山関連資料の採録を行い、撮影が完了しました。現在は資料を元の段ボール箱から中性紙資料保存箱への移し替え作業を行っています。一部資料については、たからづかデジタルミュージアムで閲覧することができます。

続いて、たからづかデジタルミュージアムの公開と管理について、「この写真、ご存知ですか？」の高解像度データを追加しました。この写真の公開自体は3月31日で終了予定ですが、結果を公表する場として今後も残すことを検討しています。

市史研究紀要たからづかについて、令和6年2月に第31号を発行しました。今年度は次

号 32 号の発行に向けて執筆者の選定を行いました。

資料の修復について、前年度に引き続き映画ポスターの脱酸性化処置と補修・裏打ちの作業を進めています。今年度は 11 点行いました。

資料のデジタル化について、市史資料目録集に掲載されている資料を撮影した写真フィルムが市史資料室に残されています。今年度は 4 文書（1190 コマ）のデジタル化を行いました。

（委員）ありがとうございます。ここで一度休憩を挟みたいと思いますがいかがでしょうか。それでは 10 分後に再開とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（２）令和 7 年度事業実施予定

（委員）それでは引き続き、次第に従い議事を進めてまいります。歴史民俗資料館管理運営事業からお願いします。

1 歴史民俗資料館資料館管理運営事業について

（事務局）令和 7 年 4 月 1 日より、小浜宿資料館と旧和田家住宅の開館日を変更し、祝日も関係なく土曜日と日曜日のみ開館します。ただし、団体予約や校外学習の予約が入った場合は月曜日から金曜日でも開館する予定です。休館日は月曜日から金曜日・年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日）とします。

令和 7 年度事業予定について、小浜宿資料館では常設展示「堂坂遺跡の壺と古銭」を引き続き開催予定です。旧和田家住宅では次のとおりイベントの開催を予定しています。「古民家で伝統文化に触れよう」では令和 6 年度の箏と尺八の音楽鑑賞イベントのような伝統文化に触れる機会を実施予定です。「古民家であそび！絵本の読み聞かせと伝承あそび」では中央図書館司書による絵本の読み聞かせや手あそび・折り紙など昔のあそびを実施予定です。「古民家で聴く落語」では落語鑑賞を実施予定です。「古民家で茶道体験」では茶道体験のイベントを実施予定です。

校外学習の対応について、令和 6 年度と同様に市内小学校 3 年生の社会科授業として、小浜のまちや昔の暮らしを解説します。

2 文化財保護事業について

（事務局）市指定文化財 補助事業についてです。

① 市指定無形民俗文化財 ケトロン祭り道具修理補助

ケトロン祭りで使用する「撞木（しゅもく）」という道具の修理補助を行います。予算は 79,200 円のうち 2 分の 1 の 39,600 円を補助予定です。

② 市指定無形民俗文化財 西谷地区のちまきの食文化 次世代継承事業補助

西谷地区のちまきの食文化を次世代に継承するため、西谷ちまき保存会による小・中学生

を対象とした講座等開催に係る費用を補助します。予算は 40,000 円のうち 2 分の 1 の 20,000 円を補助予定です。

続いて、たからづかデジタルミュージアム教育コンテンツ制作・公開についてです。令和 6 年度事業実施報告でもお伝えしたとおり、公益財団法人図書館振興財団の 2024 年度提案型助成事業に採択され、令和 7 年度に事業を実施します。たからづかデジタルミュージアムに子ども専用画面を作り 2 つのコンテンツを掲載します。コンテンツは「絵地図で見るまちのうつりかわり（武庫川女子大学包括連携事業）」と「くらしのうつりかわり学習教材 3D モデル Web サイト」です。事業費は総額 5,379,000 円で、内訳は助成金が 4,729,000 円、自己資金が 650,000 円です。スケジュールとしては、令和 7 年 4 月から 5 月が準備期間、6 月から 3 月が契約・制作期間、令和 8 年 1 月に「くらしのうつりかわり学習教材 3D モデル Web サイト」を公開、2 月に「絵地図で見るまちのうつりかわり」を公開、3 月に実績報告を予定しています。

その他、次のとおり実施を予定しています。

① 史跡公園等高木樹木伐採

社会教育課が管理する史跡公園の高木による落ち葉・日照問題等が隣近住宅に影響しており、剪定・伐採に係る費用が増加しており、予算の確保が課題となっています。

② 市指定天然記念物松尾湿原 保全活動用送迎バス

松尾湿原は市立宝塚自然の家内にあり、ボランティア団体の宝塚エコネットが月に 1 回保全活動を行っています。令和 6 年度までは市が運営するマイクロバスで送迎していましたが、令和 7 年度からマイクロバスが廃止され担当課で予算を確保し民間会社へ委託することとなりました。今後は財政状況による送迎バスに係る予算確保や、宝塚エコネット活動員の高齢化、若い年齢層の活動員の確保が課題です。

3 普及啓発事業について

(事務局) 令和 7 年度に実施する普及啓発事業についてです。

令和 7 年 5 月 16 日（金）から 19 日（日）に国登録有形文化財旧山田家住宅春の一般公開を行います。令和 6 年度と同様に解説付き見学も実施し、新たな試みとして宝塚いけばな協会によるいけばな展示も行います。

6 月に西谷ちまき作り体験、8 月に夏の鋳造体験講座、10 月に秋の鋳造体験講座、11 月に旧山田家住宅秋の一般公開および旧山田家住宅活用イベント、国登録有形文化財小林聖心女子学院の一般公開、令和 7 年 3 月に春の鋳造体験講座を実施予定です。

4 桜ガ丘資料室（旧松本邸）維持管理事業について

(事務局) 施設管理維持のため、邸内では施設消毒、ゴキブリ等防除（年 2 回）、敷地内では樹木剪定（年 2 回）、落葉清掃及び枯木除去（年 2 回）、樋清掃（年 1 回）、除草（年 4 回）、植木消毒（年 2 回）を実施予定です。

敷地内樹木整備について、令和 4 年度の樹木調査結果に沿って対処が必要と指摘があった部分を中心に作業を進めています。指摘箇所のうち 2 カ所は作業が未完了ですが、どちらも隣地に影響を及ぼす箇所ではないため、令和 7 年度に作業を行う予定はありません。

旧松本邸の一般公開については、例年通り春と秋の年 2 回を予定しています。春は令和 7 年 5 月 12 日（月）から 18 日（日）に公開します。以上です。

5 市史資料整理事業について

（事務局）聖光文庫企画展示は年間 2 回を予定しています。1 回目は 6 月 1 日（日）から 7 月 15 日（火）、2 回目は 9 月中から 10 月 19 日（日）です。

講座について、平成 30 年度から毎年開催している古文書入門講座を令和 7 年度も 3 回連続講座として開催予定です。デジタルミュージアムの利活用を市民に周知するため、デジタルミュージアム関連講座も複数回開催予定です。

西谷村役場文書の整理について、前年度に引き続き資料の整理を行います。細目録（簿冊につづられている資料 1 点ごとの採録）の作成を中心に作業を進めます。

たからづかデジタルミュージアムの管理も引き続き行います。

市史研究紀要たからづかについて、令和 7 年度は第 32 号の原稿執筆年となり令和 8 年度の発行を目指して準備を進めます。

資料の修復について、引き続き映画ポスターの修復を行います。以上です。

（委員）ありがとうございます。質問やご意見などありますでしょうか。

（全委員）意見なし

（委員）それでは本席での議事を終えます。ありがとうございました。